

2009

プレFDプロジェクト 文学研究科 授業公開 検討会

2009 Peer Review of Teaching

文学研究科ODによる連続公開ゼミナール

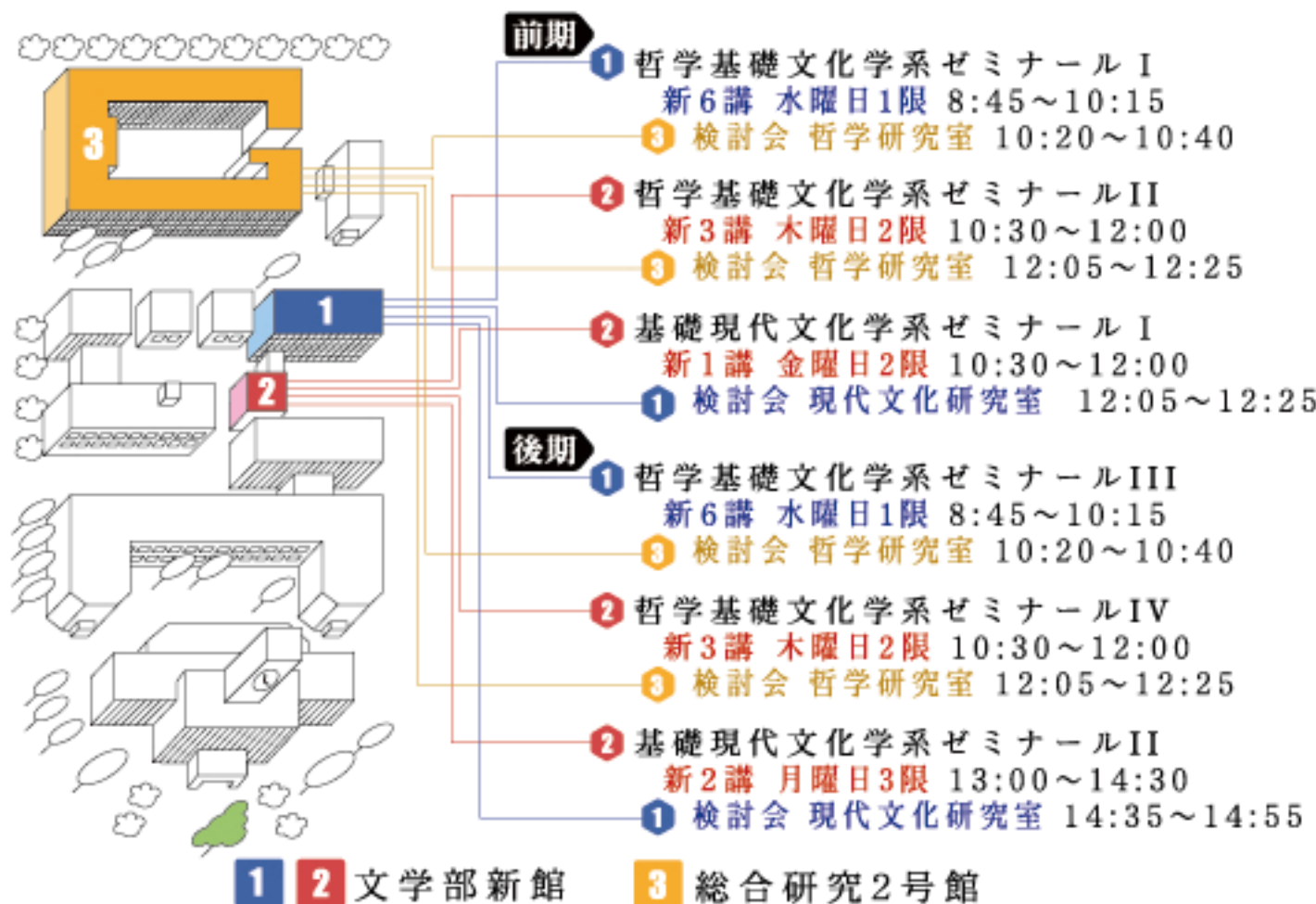
文学研究科プレFDプロジェクトとは：

文学研究科のいわゆるOD（オーバードクター）という正規ファカルティ予備集団のためのプレFDプロジェクト。ODが担当する学部生向け連続ゼミナールを公開し、授業終了後、20分程度の授業検討会を行います。授業を担当したODには学期末に研修ワークショップを実施し、総長名の修了証を授与します。

参加対象

京都大学の教職員ならどなたでもご参加いただけます。

- ・ 授業改善に興味のある方
- ・ ODによる授業に興味のある方
- ・ FDに興味のある方



哲学基礎文化学系ゼミナール I	前期水1, 文学部新6講		
杉山卓史	芸術分科論	4月8日	4月15日
桂澤伸哉	セックスを哲学的に考える	4月22日	5月13日
山口龍広	なぜ「告白すること」が哲学的でありうるのか	5月20日	5月27日
	→アウグスティヌス『告白録』への招待		
長田篤人	カントと自然神学の関係	6月3日	6月10日
今田健彦	ハンナ・アーレントの『人間の条件』再考	6月17日	6月24日
	→現代キリスト教思想の可能性を求めて		
佐々木誠	テイラーの宗教論	7月1日	7月8日
山内 誠	基の象徴系—ポール・リケールの象徴解釈学	7月22日	7月29日
哲学基礎文化学系ゼミナール II	前期水2, 文学部新3講		
藤田尚典	動物解放論	4月9日	4月16日
大月俊子	キリスト教義の成立と教父の思想	4月23日	4月30日
林 智康	『道徳感理論』入門—D. ヒュームとA. スミスの場合	5月7日	5月14日
横田隆人	神の存在を証明する「五つの道ive ways」	5月21日	5月28日
	→トマス・アクィナス『神学大全』から		
大西洋典	カリール・ハワードの神学入門	6月4日	6月11日
田島良典	『存在と時間』入門	6月25日	7月2日
長谷川琢磨	承認をめくって	7月9日	7月23日
哲学基礎文化学系ゼミナール III	後期水1, 文学部新6講		
吉沢一哉	現代におけるプラトンの『国家』	10月7日	10月14日
松原慶夫	『歴史の哲学』の歴史—20世紀初頭ドイツに焦点を絞って	10月21日	10月28日
三宅浩史	ペルケソンと神学—神学万能主義とスピリチュアリズムの	11月4日	11月11日
	関係 (19世紀後半フランス) の一例として		
守田 隆	西田幾多郎の哲学	11月18日	11月25日
堀川真実	西洋思想と東洋思想の両、現代ユダヤ哲学の諸特徴	12月2日	12月9日
	→マルティン・ブバーの対話思想を手がかりとして		
山本圭一朗	神学主義と神学主義	1月6日	1月13日
哲学基礎文化学系ゼミナール IV	後期水2, 文学部新3講		
田中英子	詩人哲学者のひらめき	10月1日	10月8日
山口隆雄	物語る自己	10月15日	10月22日
中村 勉	聖の倫理学	10月29日	11月5日
片上洋輔	意識の発達段階について—ゲン・ウィルバーの初期思想	11月12日	11月19日
小嶋新理	ジョン・ロック—その人と時代、そして哲学	11月26日	12月3日
水野友晴	日本の哲学—ことばと心—「哲学」という新動向の本質と明瞭の哲学	12月10日	1月7日
現代文化学	前期金2, 文学部新1講		
永井 和	授業の録音と現代文化学系の説明、および講師の紹介	4月10日	
山口晋人	現代世界と国際通貨	4月17日	4月24日
		5月1日	
宮本 望	戦後天皇制の批判	5月8日	5月15日
		5月22日	5月29日
		6月5日	
小林敦子	革命芸術と芸術革命	6月12日	
		6月19日	6月26日
		7月3日	
		7月10日	
現代文化学	後期月3, 文学部新2講		
田中英子	科学哲学への招待	10月5日	10月12日
		10月26日	
井上 勉	近代日本と知識階級	11月9日	11月16日
		11月30日	
片岡 隆	戦前における「皇国化」政策—戦争動員—音楽	12月7日	12月14日
		12月21日	

授業を見て、語り合う。

お問合せ

教育推進部教務企画課教育企画グループ
TEL: 075-753-2430 e-mail: ksui-kkikakukyom02@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

文学研究科・FD研究検討委員会共同主催